

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第28週
(7月7日～7月13日)

- * 2008年7月16日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2008年6月)の疾患も掲載しています。

平成20(2008)年7月17日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話 : 03-3363-3213(直通)
FAX : 03-5332-7365
e-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年28週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				全国(診断週)		
		25週	26週	27週	28週	年累計	28週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	68	80	68	65	2160	324	13601
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三類	コレラ		1			3	1	24
	細菌性赤痢	2		3	5	33	9	145
	腸管出血性大腸菌感染症	8	10	16	14	84	102	1250
	腸チフス					6		27
	バラチフス				1	5		18
四類	E型肝炎					5	1	28
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎				1	18	4	97
	エキノкокクス症						1	7
	黄熱							
	オウム病							5
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱					1		2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病	1				5	1	118
	デング熱	1			4	13		33
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						2	20
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
マラリア	1	1		1	10	1	21	
野兔病							4	
ライム病							3	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	3	3	1	1	39	16	430	
レプトスピラ症							1	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				全国(診断週)		
		25週	26週	27週	28週	年累計	28週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	5	4	5	1	96	3	442
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		1		4	19	4	120
	急性脳炎 ***	1				6		103
	クリプトスポリジウム症					2		4
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1	1	11	5	83
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					14	1	68
	後天性免疫不全症候群	7	13	12	8	292	14	761
	ジアルジア症		1	1		14	1	41
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		10
	先天性風しん症候群							
	梅毒	7		3	5	107	12	432
	破傷風					2	2	53
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					8	3	43
風しん		2	1	1	29	4	242	
麻しん	16	18	20	17	1080	149	10232	
2008/7/16集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** 2008年5月12日から指定された。

*** ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 65件 肺結核36件、その他29件で、推定感染地は国内62件、フィリピン1件、国内/アラブ首長国連邦1件、不明1件。年齢は10歳未満5件(うち5歳未満4件)、10歳代2件、20歳代11件、30歳代12件、40歳代7件、50歳代7件、60歳代7件、70歳代6件、80歳代5件、90歳代3件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 5件 ソンネ5件で、推定感染地はメキシコ3件、インドネシア1件、タイ1件、推定感染経路は飲食物による経口感染4件、不明1件であった。推定感染地メキシコの3件は、27週に報告された症例の同行者であった。

腸管出血性大腸菌感染症 14件 有症状者10件、無症状病原体保有者4件で、血清型はO157(VT1VT2) 7件、O157(VT2) 3件、O157(毒素型不明)2件、O26(VT1) 1件、O115(VT1) 1件、年齢は10歳未満2件、10歳代2件、20歳代4件、30歳代3件、50歳代1件、80歳代2件であった。

パラチフス 1件 推定感染地はインドであった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 1件 推定感染地は韓国で、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

デング熱 4件 推定感染地はミャンマー2件、カンボディア1件、タイ/ベトナム1件であった。3件で血清型が判明しており、2型、3型、4型が各1件。デング出血熱の症例はなかった。

マラリア 1件 熱帯熱マラリアで、推定感染地はベナンであった。

レジオネラ症 1件 肺炎型で、推定感染地は国内、感染経路は不明であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 1件 腸管アメーバ症で、推定感染地は国内、感染経路は不明であった。

ウイルス性肝炎 4件 B型肝炎3件、C型肝炎1件であった。推定感染地はすべて国内で、B型肝炎の推定感染経路は異性間性的接触1件、カミソリ共用1件、不明1件で、C型肝炎の感染経路は不明であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 孤発性プリオン病の死亡例で、70歳代であった。

後天性免疫不全症候群 8件 無症候キャリア6件、その他2件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路はすべて同性間性的接触であった。

梅毒 5件 早期顕症梅毒Ⅰ期3件、早期顕症梅毒Ⅱ期1件、無症候梅毒1件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路はすべて異性間性的接触であった。

風しん 1件 検査診断例1件で、年齢は10歳未満、風しん含有ワクチン接種歴は1回であった。

麻しん 17件 麻しん(検査診断例)3件、麻しん(臨床診断例)11件、修飾麻しん(検査診断例)3件で、年齢は5歳未満2件、10歳代3件、20歳代6件、30歳代5件、40歳代1件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は無し5件、1回6件、不明6件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2008年28週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		25週	26週	27週	28週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	1	0	0	1	0.01	148	150
	咽頭結膜熱	142	98	121	143	0.97		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	408	366	385	270	1.82		
	感染性胃腸炎	932	780	867	739	4.99		
	水痘	295	224	194	170	1.15		
	手足口病	139	130	188	254	1.72		
	伝染性紅斑	33	37	37	30	0.20		
	突発性発しん	113	118	106	122	0.82		
	百日咳	9	9	6	11	0.07		
	ヘルパンギーナ	225	387	460	803	5.43		
	流行性耳下腺炎	125	110	100	147	0.99		
	不明発しん症 (注1)	23	26	39	24	0.16		
MCLS(川崎病) (注1)	6	1	1	2	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	11	17	7	5	0.02	285	290
眼科	急性出血性結膜炎	2	2	1	4	0.11	37	39
	流行性角結膜炎	28	35	25	20	0.54		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	1	0	2	0.08	24	24
	無菌性髄膜炎	1	1	0	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	2	3	3	2	0.08		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		
2008/7/16集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。引き続き季節的流行に注意が必要である。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。2007年同時期とほぼ同レベルにあるが、過去5年平均の同時期よりも多く、引き続き注意が必要である。
- ・手足口病の定点当たり報告数は継続して増加している。引き続き季節的流行に注意が必要である。
- ・百日咳の定点当たり報告数は増加した。2008年最多の第22週(～6月1日)以降、全体として減少している印象があったが、今後も引き続き注意が必要と考えられる。患者実数は11人で、うち5人が20歳以上であった。
- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は顕著に増加しており、引き続き季節的流行に注意が必要である。
- ・流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。今後の推移に注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

足立保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ(B型)12歳男児、7/7まで北海道旅行で7/10発症しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年28週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月				11	3	3		1	1	2
～11か月		3	4	49	6	15	1	67		49
1歳	1	15	11	90	26	64	3	47		207
2歳		26	13	62	19	55	1	4		167
3歳		27	32	78	27	45	4	1	1	139
4歳		21	41	86	35	39	7			107
5歳		14	37	59	29	10	9			64
6歳		13	39	46	12	8	1			29
7歳		5	34	35	7	7	1	1	1	20
8歳		5	8	22	4	3	1		1	5
9歳		3	17	36				1		5
10～14歳		5	17	63	2	2	2		1	3
15～19歳		1	3	17					1	1
20～29歳		5	14	85		3			5	5
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	1	143	270	739	170	254	30	122	11	803
先週比	1	22	-115	-128	-24	66	-7	16	5	343

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		3				
～11か月	1	5	2			
1歳	9	5				
2歳	14	3				
3歳	25	2				
4歳	28	2			1	
5歳	28	1				1
6歳	14	1		1		
7歳	10	1				
8歳	8					
9歳	1	1				
10～14歳	4			1	2	1
15～19歳	2					2
20～29歳	3			1		4
30～39歳				2		8
40～49歳					1	3
50～59歳						
60～69歳						1
70～79歳						
80歳以上						
合計	147	24	2	5	4	20
先週比	47	-15	1	-2	3	-5

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数 【年齢階級別】 2008年28週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		2
2歳		
3歳		
4歳		
5歳	1	
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		2
15～19歳		1
20～29歳		6
30～39歳		5
40～49歳		1
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	17

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年28週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田					2	3			1	5
中央区				8		10	1	5		4
みなと		3	4	51	19	3		2	2	24
新宿区		3	2	19		8	1	1		14
文京		2	11	5	7	6				26
台東		2		34	5	1	1	3		2
墨田区			10	10	8	1	1		1	12
江東区		2	7	37	12	11	1	3		24
品川区		1	11	40	2	31	5	4		56
目黒区		3	2	5		5				13
大田区	1	15	4	49	5	24	8	9	2	112
世田谷		9	3	34	4	5		8		46
渋谷区				17	2	8		2		8
中野区		2	2	52	4	15	1	4		28
杉並		27	6	34	4	6		3		17
池袋			1	11	1	3		3	2	9
北区		5	1	7	2	14		7		34
荒川区		2	4	16	3	9		3		10
板橋区			2	10	1	1		4		6
練馬区		5	7	7	4	5		3		16
足立		2	10	24	4	2		6		36
葛飾区			7	15	7	12		7		22
江戸川		10	17	27	6	9		7		90
八王子市		11	44	49	27	22	5	6	3	11
西多摩		12	5	7	5	2		4		43
南多摩		1	7	15	3	12	1	4		9
町田		7	42	39	10	5	1	8		39
多摩立川		4	5	16	9	1	1			14
多摩府中		8	19	32	6	10	1	7		33
多摩小平		7	32	69	8	8	2	8		36
島しょ			5			2		1		4
東京都合計	1	143	270	739	170	254	30	122	11	803

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】2008年28週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	1		2			
中央区	2					
みなと	2					
新宿区		1				2
文京	2					2
台東	9					
墨田区		1				
江東区	3	1				2
品川区	2	5				
目黒区	1					
大田区	3					
世田谷	8					
渋谷区	4					
中野区	5	3			1	1
杉並	4			1		
池袋	3					
北区	4					
荒川区	18					1
板橋区	4					1
練馬区	3					1
足立	30			1	3	3
葛飾区	1					
江戸川	3			1		1
八王子市	22	9				1
西多摩	1	1				1
南多摩	2					
町田	4	2		2		
多摩立川	1					2
多摩府中	4	1				
多摩小平	1					2
島しょ						

東京都合計	147	24	2	5	4	20
-------	-----	----	---	---	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区	1	
目黒区		
大田区		1
世田谷		1
渋谷区		
中野区		1
杉並		
池袋		1
北区		
荒川区		
板橋区		1
練馬区		3
足立		
葛飾区		4
江戸川		2
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		3
島しょ		

東京都合計	1	17
-------	---	----

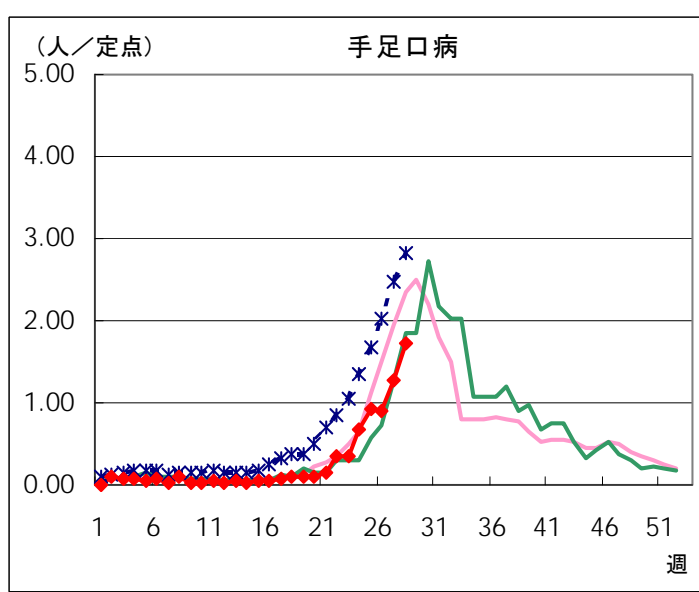
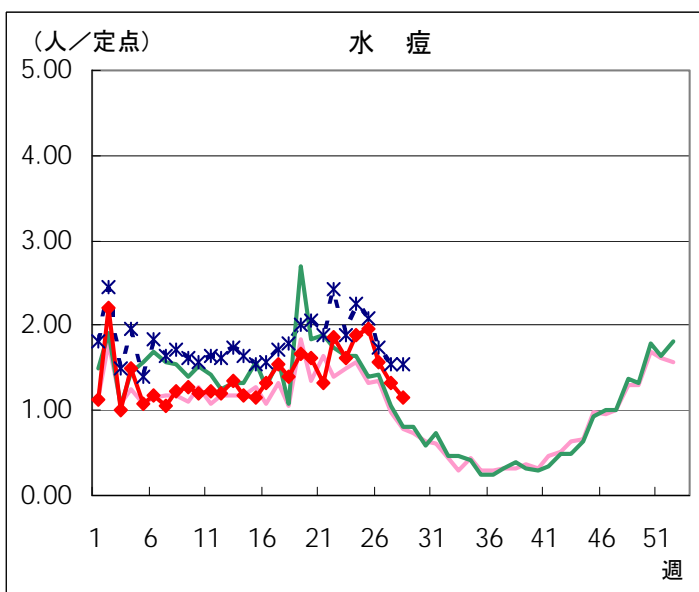
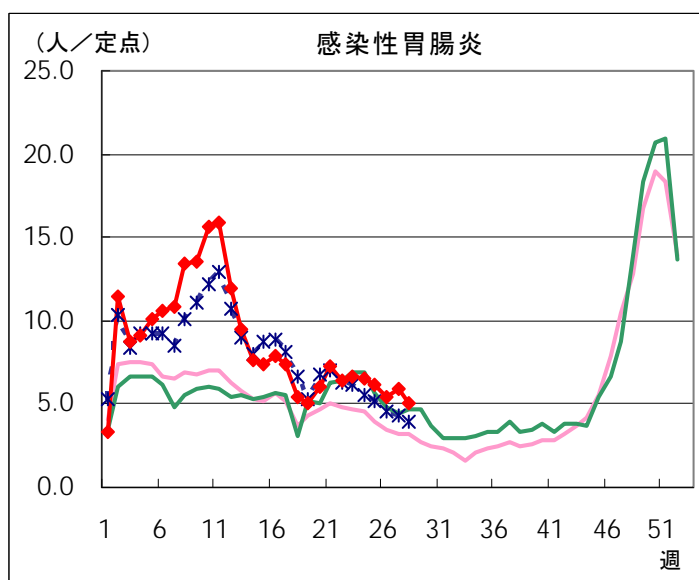
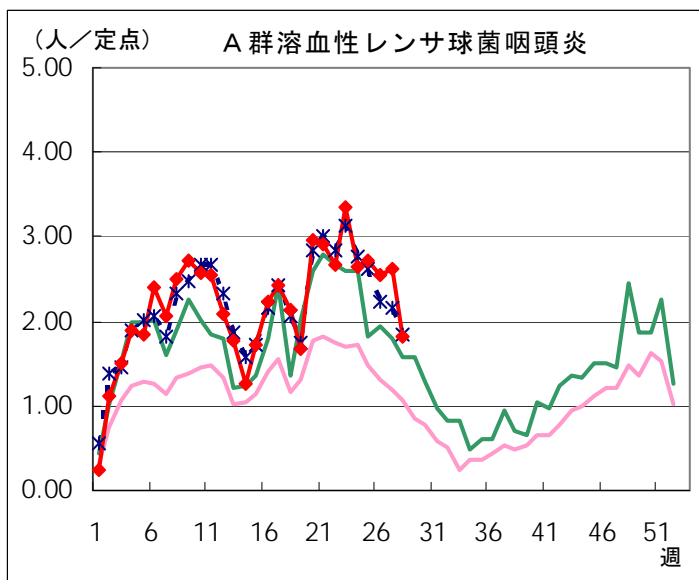
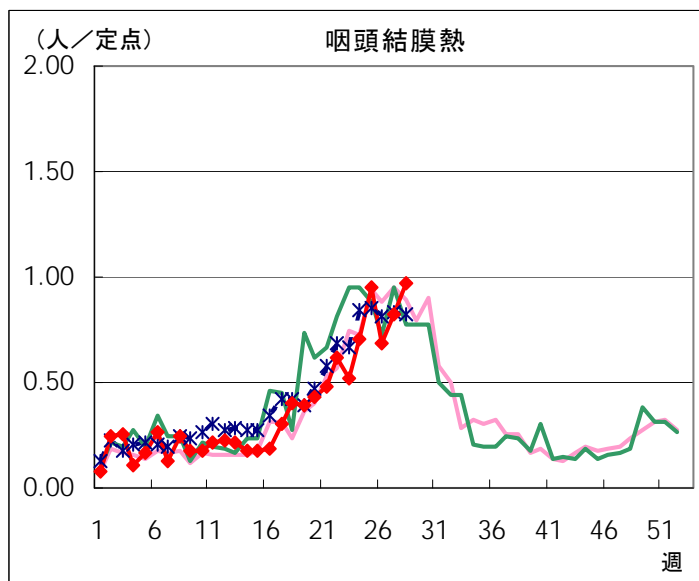
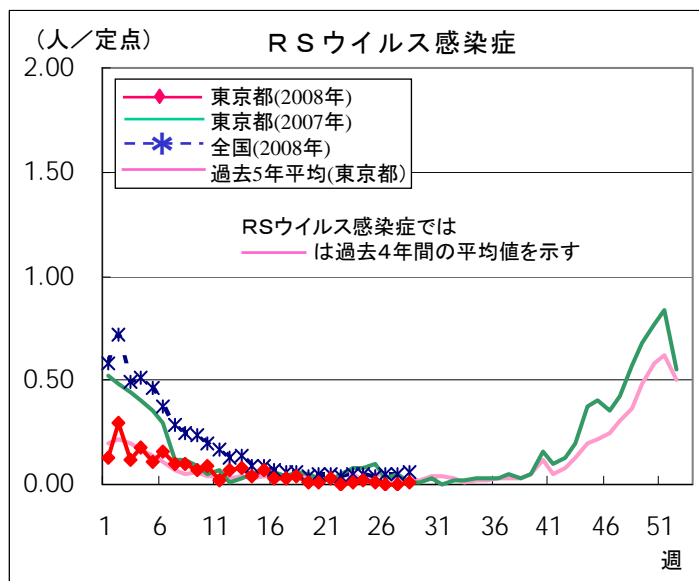
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】2008年28週

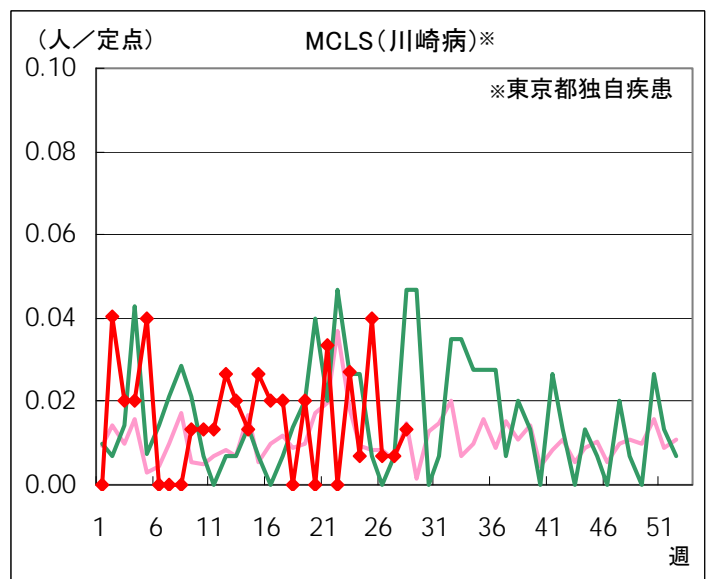
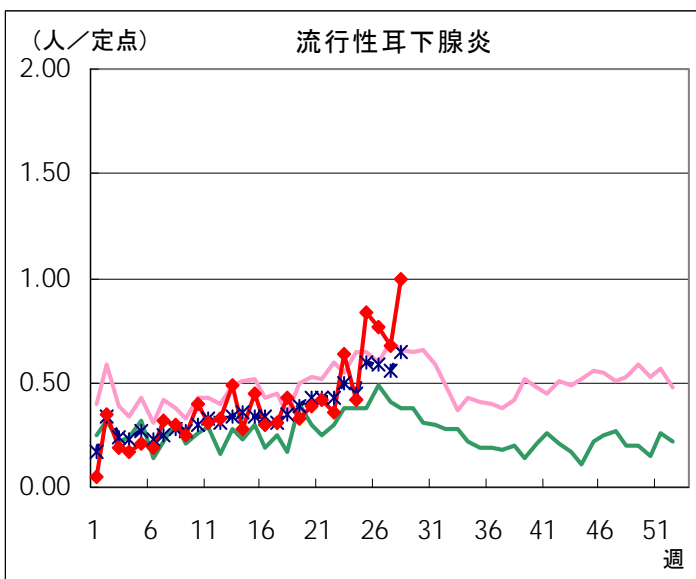
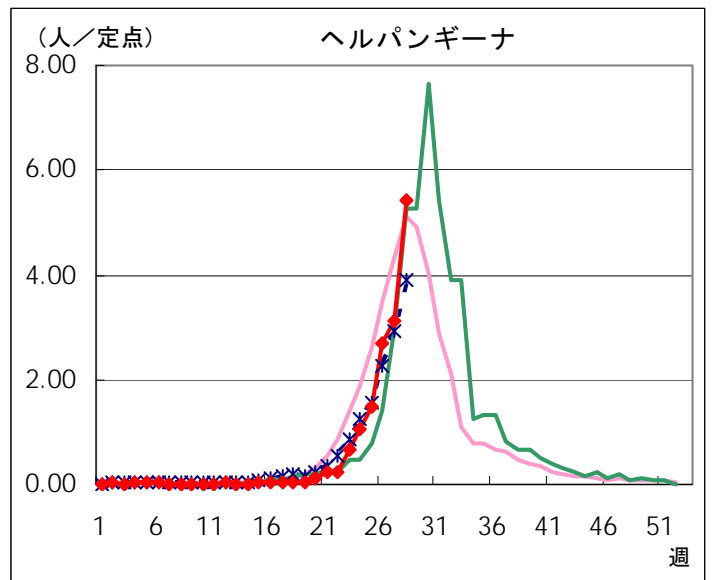
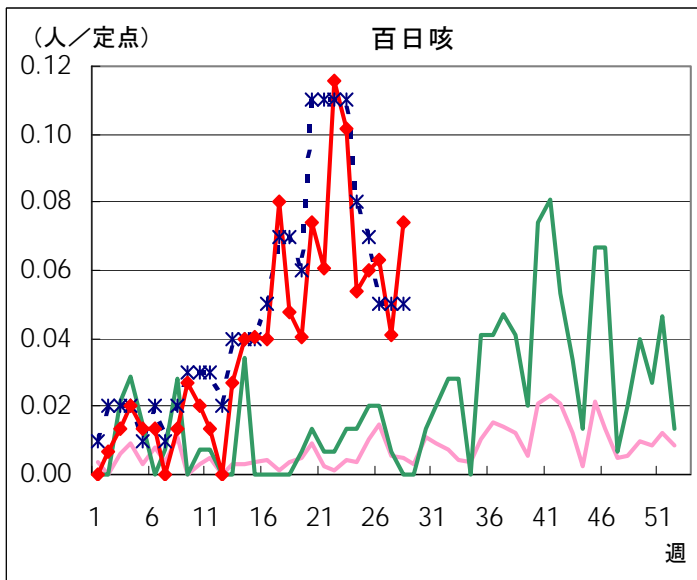
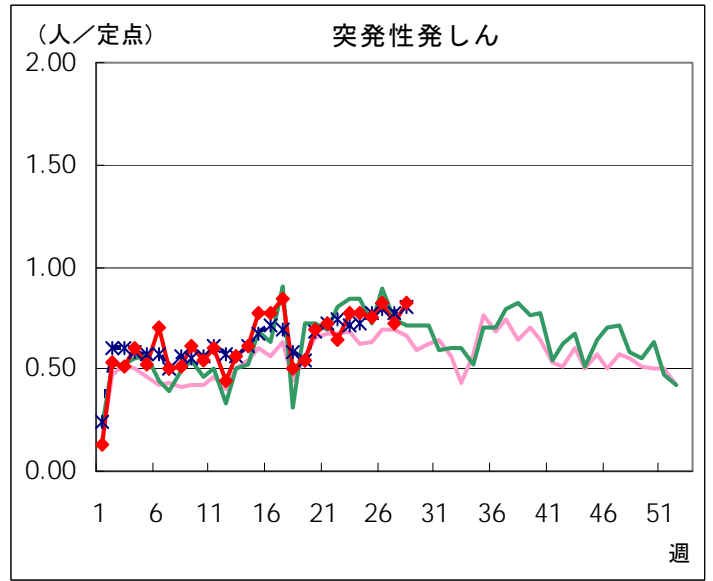
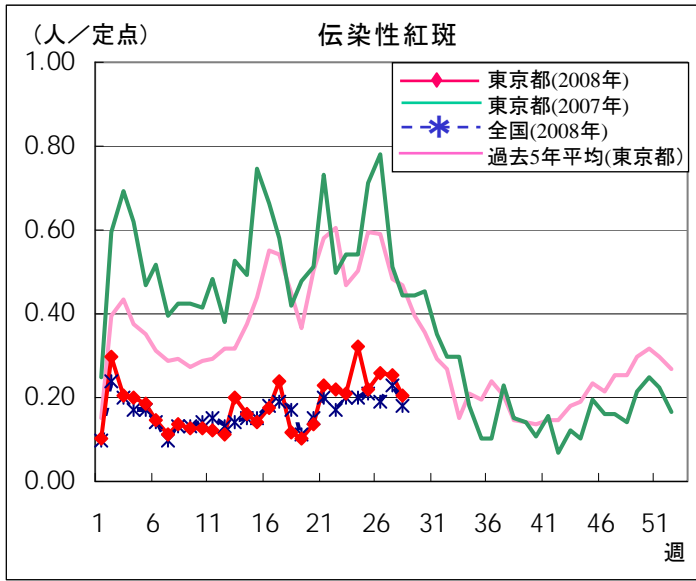
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田					0.67	1.00			0.33	1.67
中央区				2.67		3.33	0.33	1.67		1.33
みなと		0.60	0.80	10.20	3.80	0.60		0.40	0.40	4.80
新宿区		0.50	0.33	3.17		1.33	0.17	0.17		2.33
文京		0.67	3.67	1.67	2.33	2.00				8.67
台東		0.67		11.33	1.67	0.33	0.33	1.00		0.67
墨田区			3.33	3.33	2.67	0.33	0.33		0.33	4.00
江東区		0.50	1.75	9.25	3.00	2.75	0.25	0.75		6.00
品川区		0.17	1.83	6.67	0.33	5.17	0.83	0.67		9.33
目黒区		1.00	0.67	1.67		1.67				4.33
大田区	0.11	1.67	0.44	5.44	0.56	2.67	0.89	1.00	0.22	12.44
世田谷		1.13	0.38	4.25	0.50	0.63		1.00		5.75
渋谷区				4.25	0.50	2.00		0.50		2.00
中野区		0.33	0.33	8.67	0.67	2.50	0.17	0.67		4.67
杉並		4.50	1.00	5.67	0.67	1.00		0.50		2.83
池袋			0.20	2.20	0.20	0.60		0.60	0.40	1.80
北区		1.25	0.25	1.75	0.50	3.50		1.75		8.50
荒川区		1.00	2.00	8.00	1.50	4.50		1.50		5.00
板橋区			0.33	1.67	0.17	0.17		0.67		1.00
練馬区		1.00	1.40	1.40	0.80	1.00		0.60		3.20
足立		0.40	2.00	4.80	0.80	0.40		1.20		7.20
葛飾区			1.75	3.75	1.75	3.00		1.75		5.50
江戸川		2.00	3.40	5.40	1.20	1.80		1.40		18.00
八王子市		2.75	11.00	12.25	6.75	5.50	1.25	1.50	0.75	2.75
西多摩										
南多摩		0.25	1.75	3.75	0.75	3.00	0.25	1.00		2.25
町田		1.75	10.50	9.75	2.50	1.25	0.25	2.00		9.75
多摩立川		0.67	0.83	2.67	1.50	0.17	0.17			2.33
多摩府中		0.80	1.90	3.20	0.60	1.00	0.10	0.70		3.30
多摩小平		1.17	5.33	11.50	1.33	1.33	0.33	1.33		6.00
島しょ			5.00			2.00		1.00		4.00
東京都	0.01	0.97	1.82	4.99	1.15	1.72	0.20	0.82	0.07	5.43

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	0.33		0.67			
中央区	0.67					
みなと	0.40					
新宿区		0.17				1.00
文京	0.67					2.00
台東	3.00					
墨田区		0.33				
江東区	0.75	0.25				2.00
品川区	0.33	0.83				
目黒区	0.33					
大田区	0.33					
世田谷	1.00					
渋谷区	1.00					
中野区	0.83	0.50			1.00	1.00
杉並	0.67			0.08		
池袋	0.60					
北区	1.00					
荒川区	9.00					1.00
板橋区	0.67					0.50
練馬区	0.60					0.50
足立	6.00			0.08	1.50	1.50
葛飾区	0.25					
江戸川	0.60			0.08		0.50
八王子市	5.50	2.25				0.50
西多摩						
南多摩	0.50					
町田	1.00	0.50		0.22		
多摩立川	0.17					1.00
多摩府中	0.40	0.10				
多摩小平	0.17					1.00
島しょ						
東京都	0.99	0.16	0.01	0.02	0.11	0.54

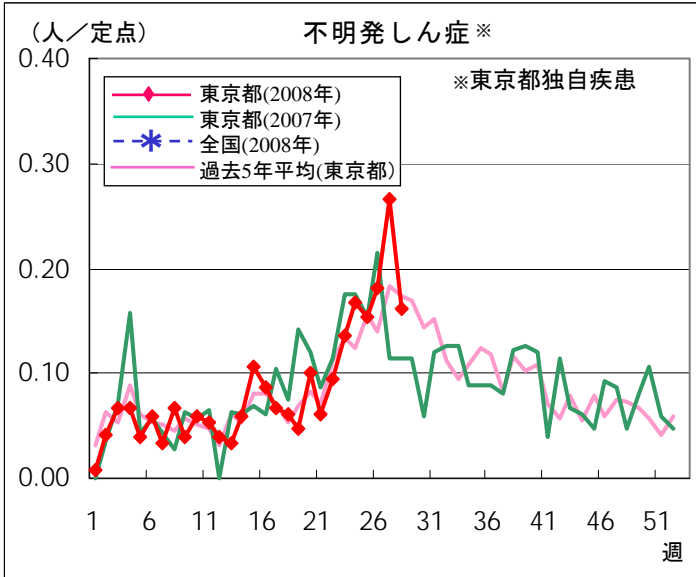
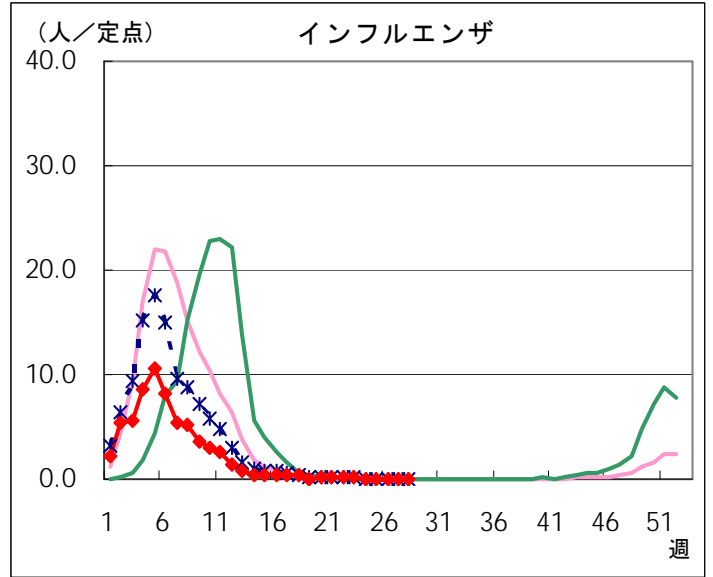
定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年28週現在

◆ 小児科定点

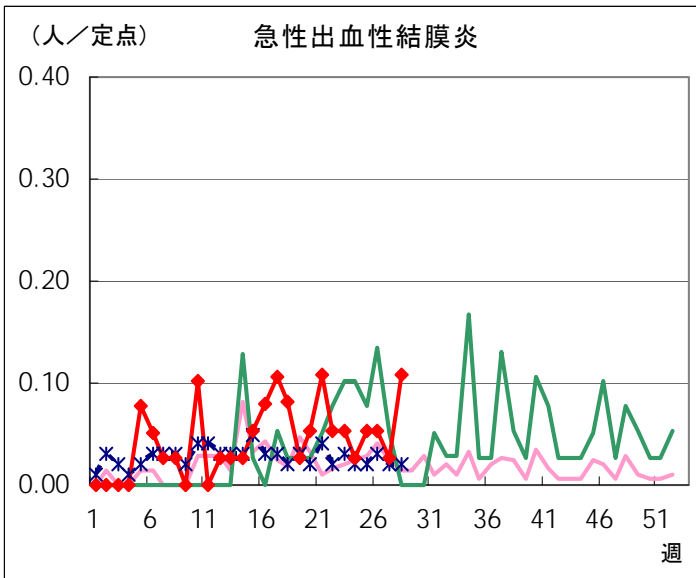
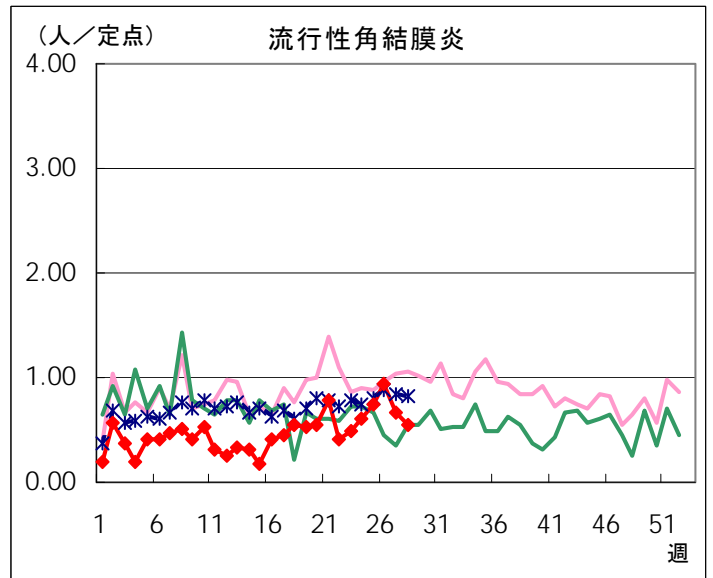




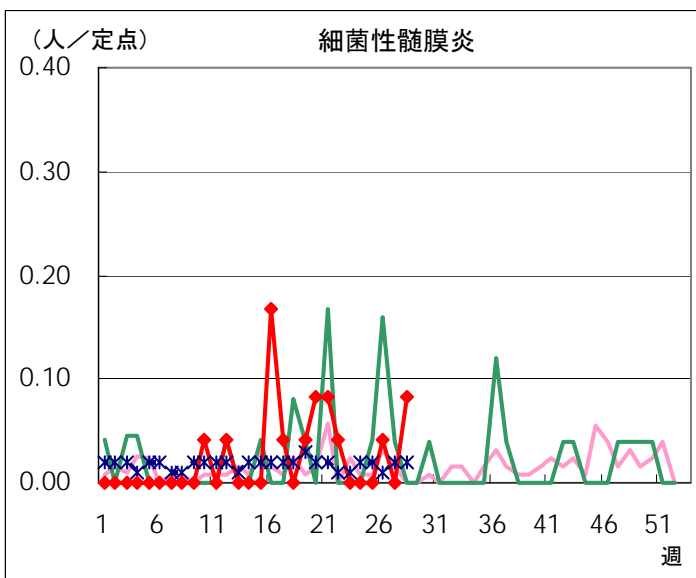
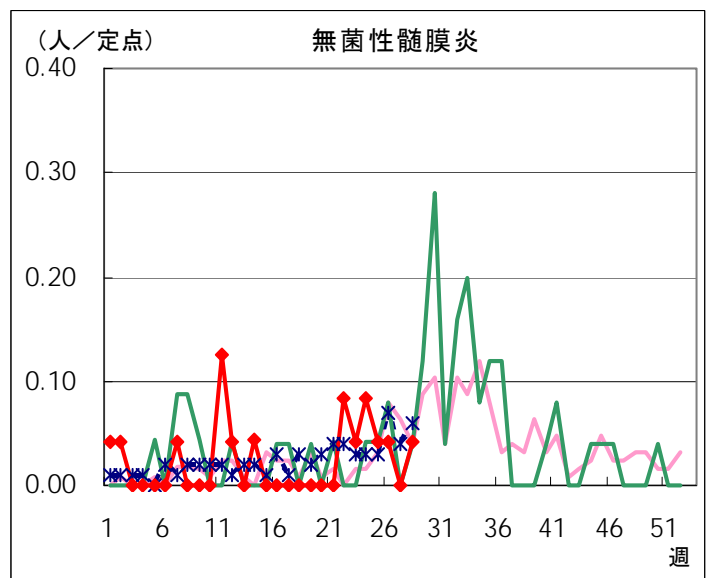
◆ インフルエンザ定点

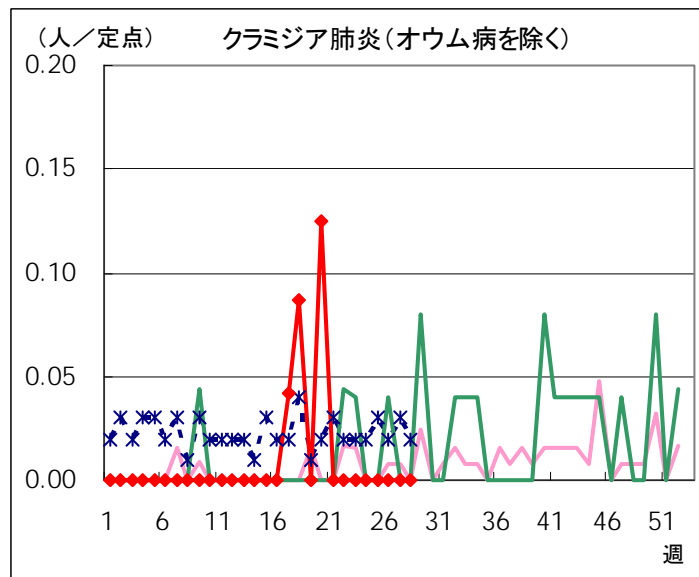
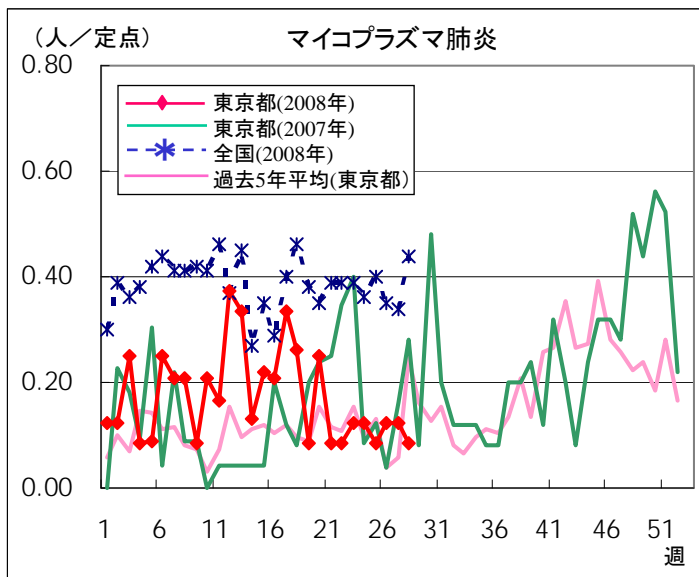


◆ 眼科定点

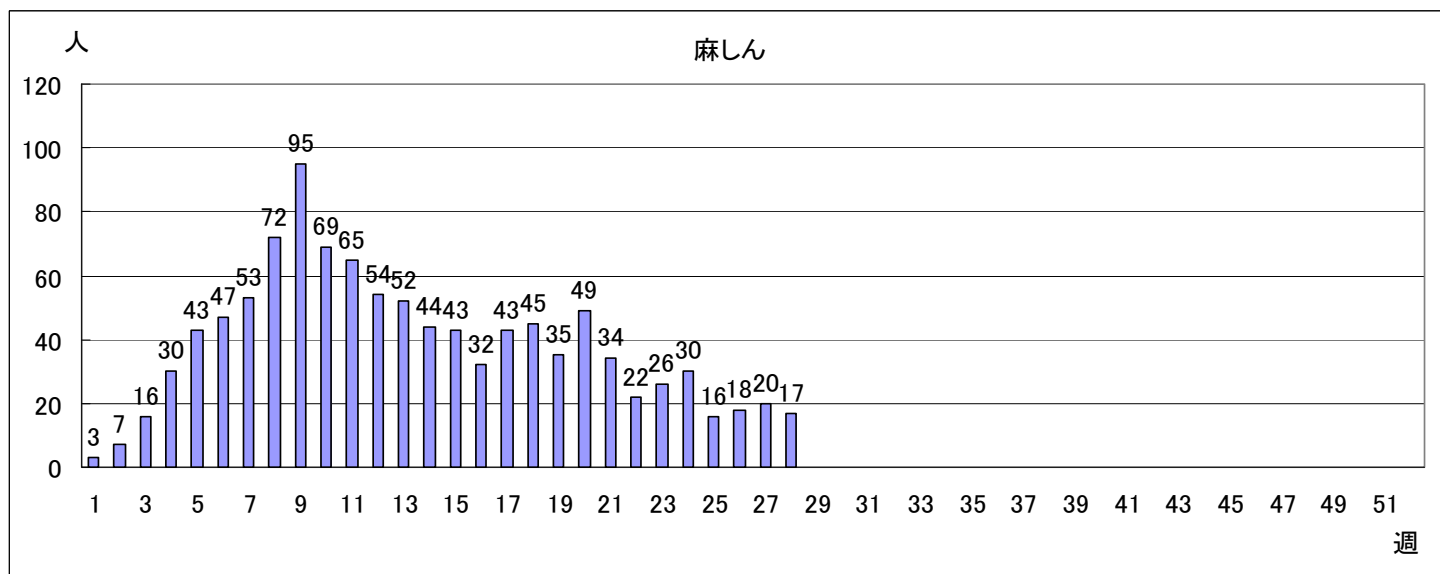


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年28週現在



病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
6/9	溶連菌感染症	4	咽頭(菌株)	A群溶血性レンサ球菌T-25型	血清型別
6/17	溶連菌感染症	4	咽頭(菌株)	A群溶血性レンサ球菌T-25型	
6/23	溶連菌感染症	7	咽頭(菌株)	A群溶血性レンサ球菌T-4型	
6/24	気管支炎、百日咳疑い	13	咽頭拭い液	MSSA、 B群溶血性レンサ球菌	分離同定
6/24	百日咳疑い	15	咽頭拭い液	百日咳菌	遺伝子
				インフルエンザ菌	分離同定
6/24	急性気管支炎、百日咳疑い	3	咽頭拭い液	百日咳菌	
6/27	咽頭炎	5	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
6/30	溶連菌咽頭炎	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-1型、 MSSAコアグラエゼ TM Ⅶ型	分離同定
6/30	溶連菌感染症	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-4型	
6/30	インフルエンザ	2	咽頭拭い液	アデノウイルス3型	遺伝子
7/1	ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/1	腸炎	1	糞便	アデノウイルス	
7/1	新生児TSS様発しん症	24D	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/1	肺炎、熱性けいれん	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/1	ヘルパンギーナ	0	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/1	咽頭炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/1	咽頭炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
7/1	溶連菌咽頭炎	10	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌、 MSSAコアグラーゼVI型	分離同定
7/1	溶連菌咽頭炎	2	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-3型	分離同定
7/1	上気道炎	7	鼻汁拭い液	百日咳菌	遺伝子 分離同定
				インフルエンザ菌	分離同定
7/2	ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
7/2	上気道炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/3	扁桃炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/3	上気道炎	5	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/3	百日咳疑い	5	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/3	インフルエンザ	4	咽頭拭い液	アデノウイルス3型	
7/4	咽頭炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
7/4	咽頭気管支炎	11M	咽頭拭い液	アデノウイルス	
記載無し	インフルエンザ	38	咽頭拭い液	エコーウイルス11型	
記載無し	バンコマイシン耐性腸球菌 感染症疑い	80	腹水(菌株)	腸球菌(<i>Enterococcus gallinarum</i>)van C1遺伝子保有	

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2008年							
		20	21	22	23	24	25	26	27
ウイルス	アデノウイルス	12	9	14	5	11	7	6	17
	ライノウイルス	5	3	6	4	6	4	9	
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								1
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	1	6	5	3	8	5	14	
	単純ヘルペスウイルス	1		4			3		
	水痘・帯状疱疹ウイルス		1						
	ヘルペスウイルス6/7	3	3	3	2	4	5	6	
	EBウイルス	1	3	2		1	4	5	
	サイトメガロウイルス	2	3		2	1	4	2	
	ムンプスウイルス		2			4	1	2	
	麻疹ウイルス		1		1	1	1		
	風疹ウイルス						1		
	パルボウイルスB19		1	1	2				
	RSウイルス								
	ノロウイルス	3	1			1	1		
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3					5			
	インフルエンザウイルスB					1			
デングウイルス									
その他のウイルス	2	2		4	10	6	7		
細菌	カンピロバクター				1	1			
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌	1		1	1				1
	溶血性レンサ球菌	1	1	5	2	1	5		8
	その他の細菌	2	3	7	6	5	1	1	8
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2008年20週～27週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	21	107	85	46	62	6	8	13	8	3	2	33	15	1	3		196	
ウイルス	アデノウイルス	4	22	16	11			5	3	1	1	4	1				13	
	ライノウイルス	1	4	15	2		1		1			2	3				8	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス	1																
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス		14	7	7				2	3		3						6
	単純ヘルペスウイルス					3												5
	水痘・帯状疱疹しんウイルス													1				
	ヘルペスウイルス6/7	1	2			1						1	8					13
	EBウイルス		1	1									5	4				5
	サイトメガロウイルス			2														12
	ムンプスウイルス					1								8				
	麻疹しんウイルス		2													2		
	風しんウイルス												1					
	パルボウイルスB19		1									2	1					
	RSウイルス																	
	ノロウイルス				5													1
	ロタウイルス																	
	インフルエンザウイルスAH1																	
	インフルエンザウイルスAH3	1	1	3														
インフルエンザウイルスB		1																
デングウイルス																		
その他のウイルス		11	16	2													2	
細菌	カンピロバクター				2													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																4	
	溶血性レンサ球菌		9	2				11										1
その他の細菌		23	5		1						1						3	
その他の病原体																		

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2008年6月

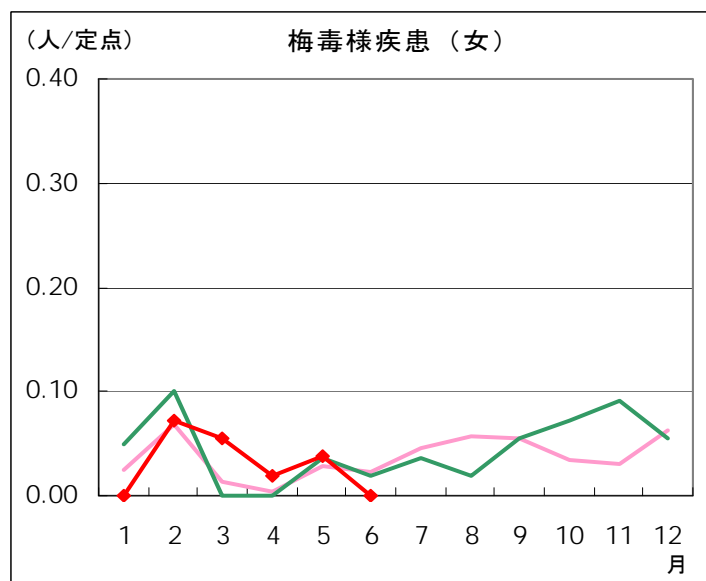
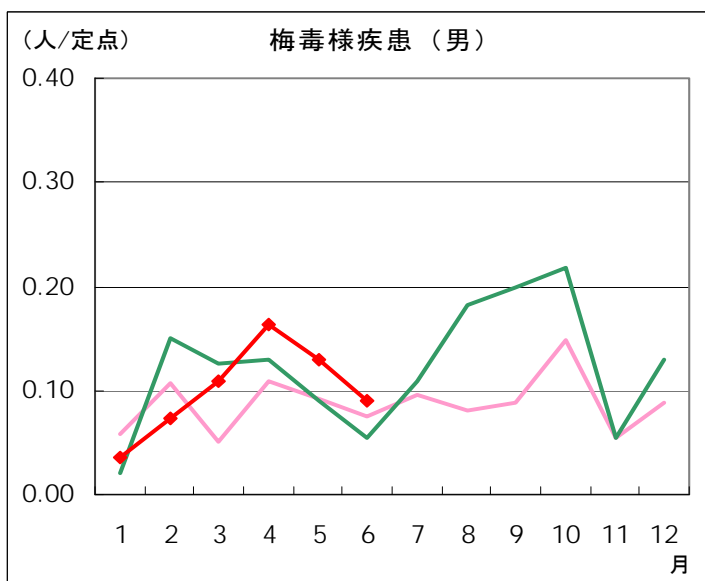
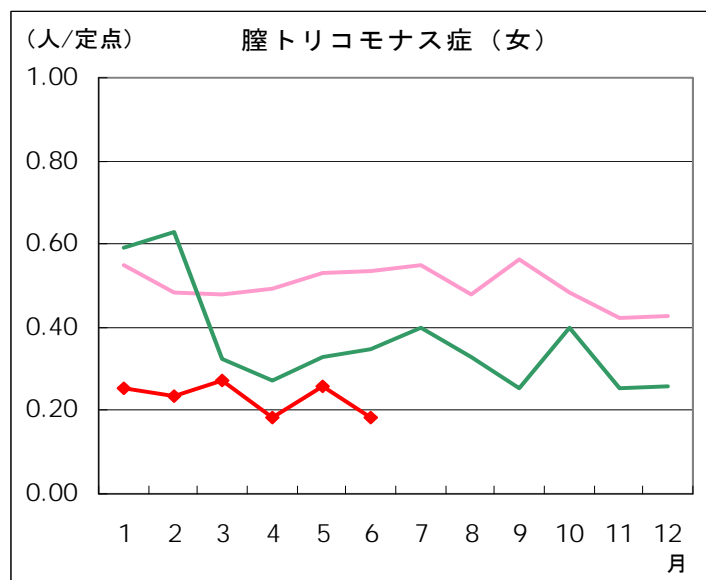
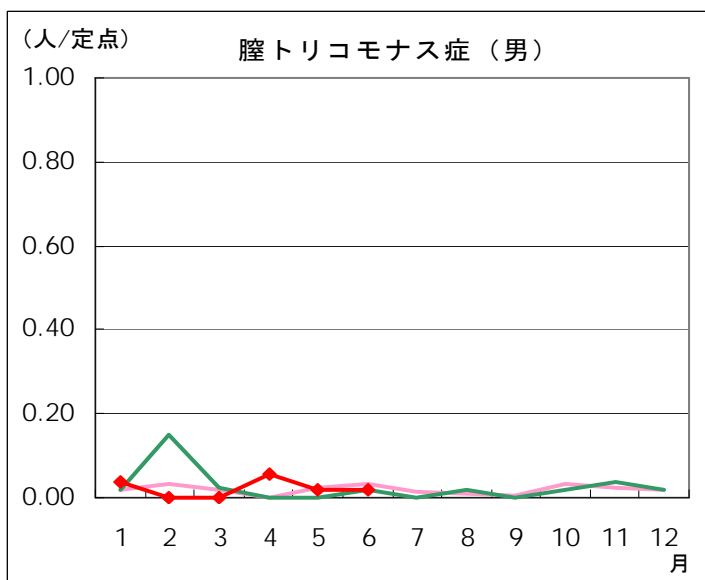
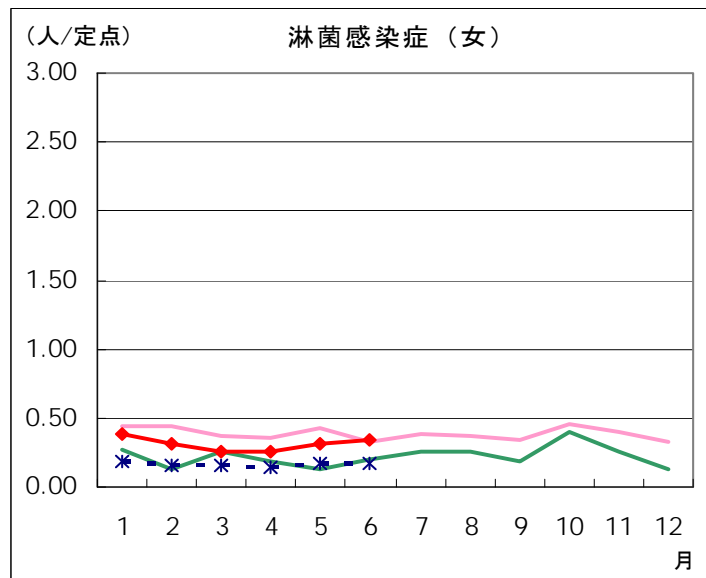
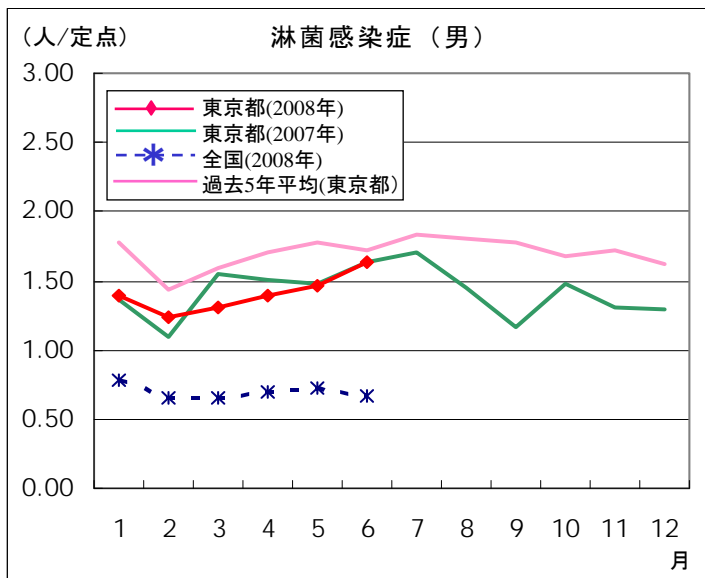
定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	126	2.29	55	55
		女	144	2.62		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	51	0.93		
		女	30	0.55		
	尖圭コンジローマ	男	63	1.15		
		女	30	0.55		
	淋菌感染症	男	90	1.64		
		女	19	0.35		
	膣トリコモナス症*	男	1	0.02		
		女	10	0.18		
梅毒様疾患	男	5	0.09			
	女	0	0.00			
基 幹	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	37	1.61	23	24
		女	23	1.00		
	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	78	3.39		
		女	40	1.74		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	0	0.00		
		女	0	0.00		
2008/7/10集計						

* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2008年6月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	2	2	1	2		
20～24歳	19	5	9	13		
25～29歳	19	8	12	17		2
30～34歳	31	6	13	24		2
35～39歳	21	11	9	13		
40～44歳	14	8	5	8		
45～49歳	12	4	8	7		
50～54歳	4	3	3	3	1	1
55～59歳	3	3		2		
60～64歳		1	2			
65～69歳	1					
70歳～			1	1		
合計	126	51	63	90	1	5
先月数	105	52	45	79	1	7
増減数	21	-1	18	11	0	-2

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	17	1		5		
20～24歳	32	3	8	4	3	
25～29歳	36	7	9	4		
30～34歳	28	5	4	1	2	
35～39歳	16	4	4	1	1	
40～44歳	11	3	2	2		
45～49歳	3	1	1	2	2	
50～54歳	1	2			1	
55～59歳		2			1	
60～64歳						
65～69歳		1	2			
70歳～		1				
合計	144	30	30	19	10	0
先月数	105	37	34	17	14	2
増減数	39	-7	-4	2	-4	-2



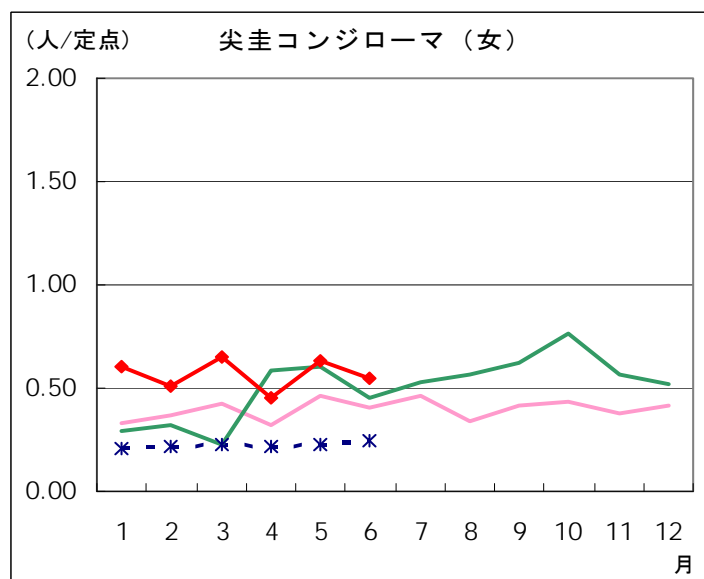
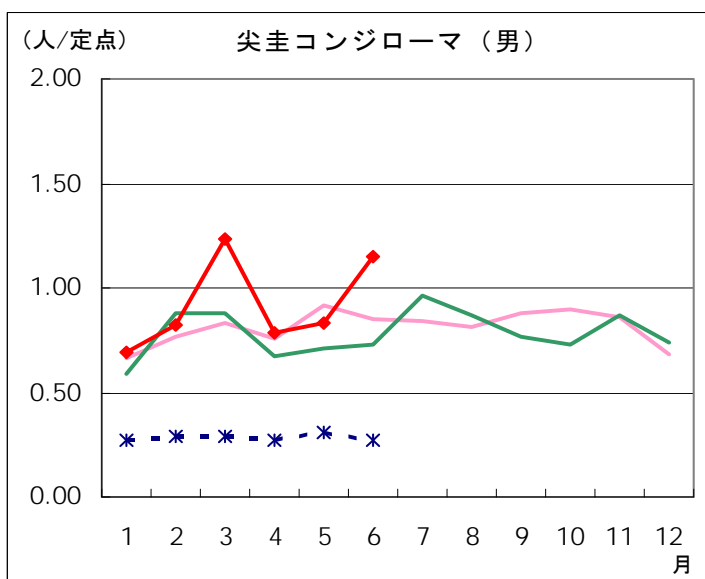
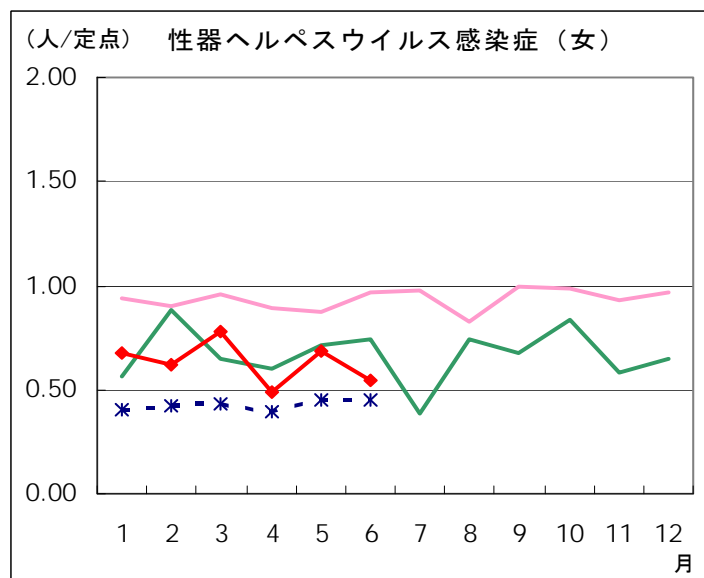
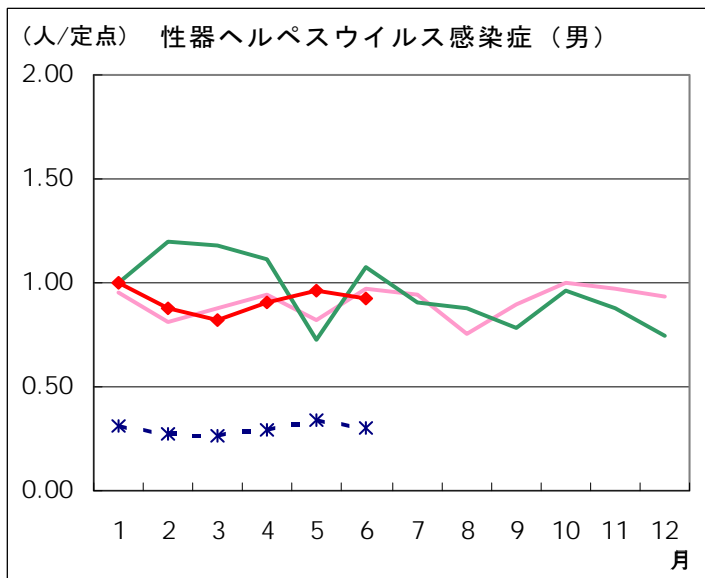
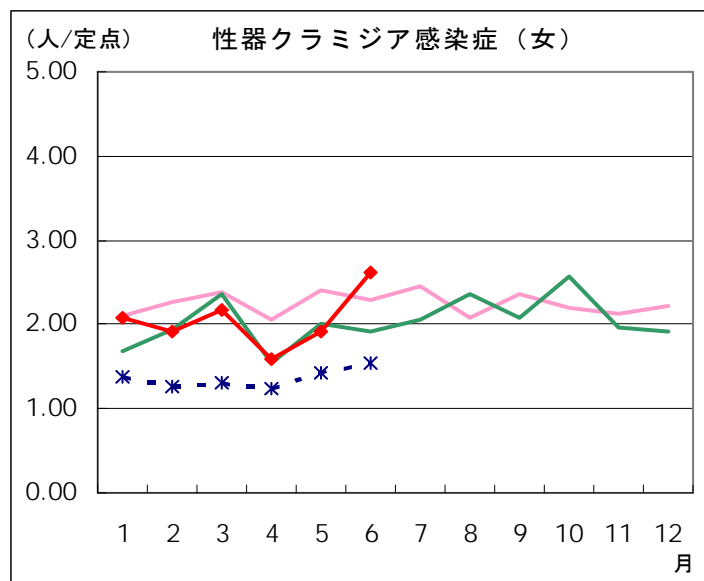
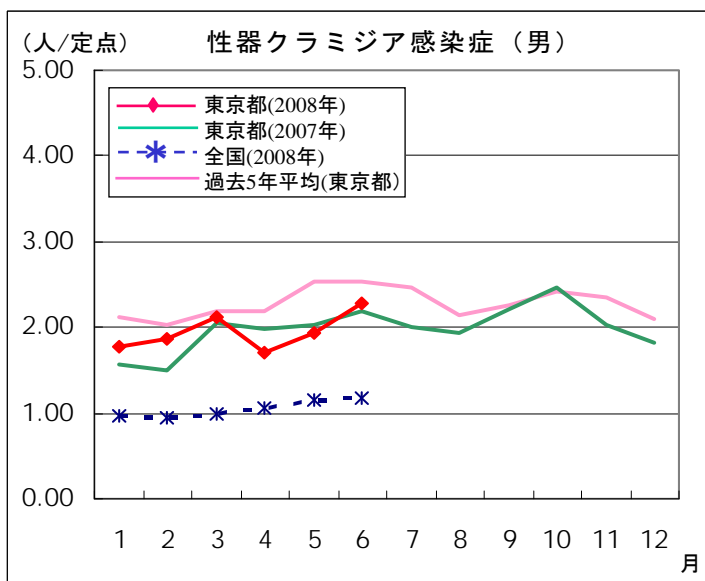
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2008年6月

男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	16	3	2	12		
中央区	3	8	1				
みなの	2	4	3	1	1		
新宿区	6	41	27	34	30		2
文京	1	4		1	4		
台東	3		1		1		
墨田区	2	3		1	2		
江東区	2	14	7	5	11		1
品川区	1						
大田区	2				2		
渋谷区	5	4	2	3	3	1	1
中野区	2	5	1		4		
杉並	2	3			1		
池袋	3	14	4	10	9		
北区	1			1			
荒川区	1						
板橋区	2				4		
足立	2		1	2	5		
江戸川	2	7	1	3	1		1
八王子市	4						
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3	3					
多摩小平	1						
合 計	55	126	51	63	90	1	5
定点当たり		2.29	0.93	1.15	1.64	0.02	0.09

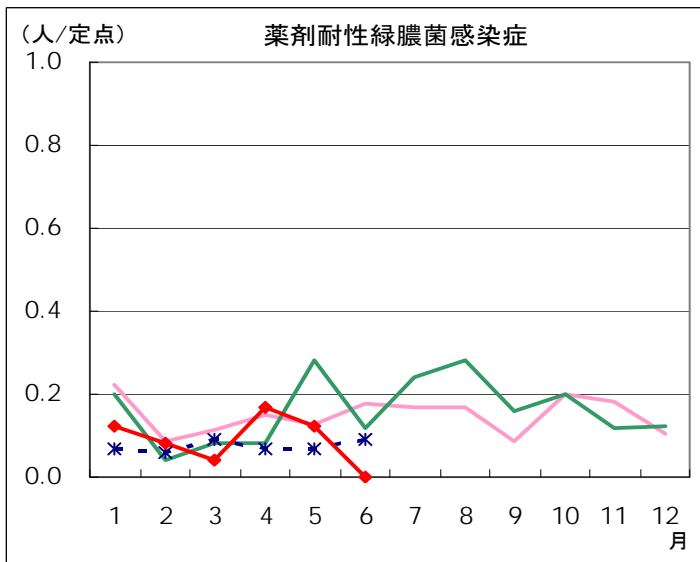
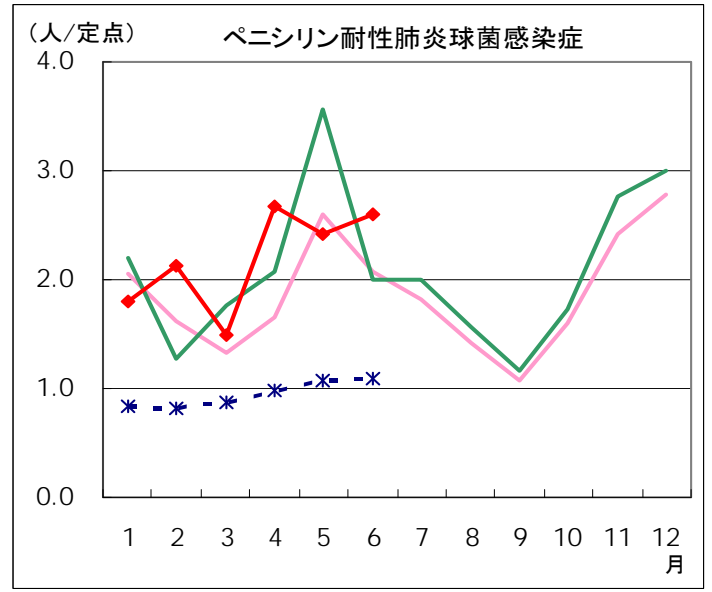
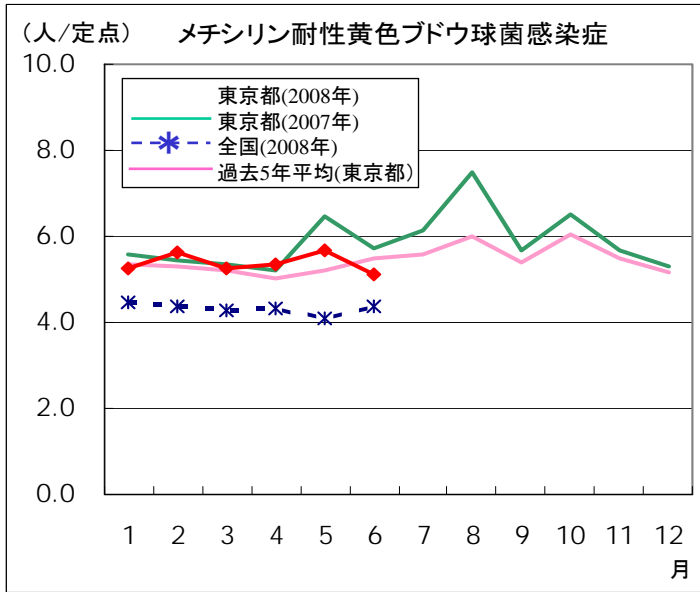
女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	1	1				
中央区	3	4			1		
みなの	2	9	1	2	2		
新宿区	6	15	8	5	8		
文京	1						
台東	3	23	4		2	2	
墨田区	2			2			
江東区	2	2		3		2	
品川区	1						
大田区	2	3					
渋谷区	5	7	5	9			
中野区	2	5			1	1	
杉並	2						
池袋	3	9	4	3	1	1	
北区	1						
荒川区	1	1			1		
板橋区	2	7	2				
足立	2	1					
江戸川	2	14	2	1	1	1	
八王子市	4	17	1	4	1	3	
町田	1	1					
多摩立川	2	23	2	1	1		
多摩府中	3						
多摩小平	1	2					
合 計	55	144	30	30	19	10	
定点当たり		2.62	0.55	0.55	0.35	0.18	

月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2008年6月現在

◆ 性感染症定点



◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
6/4	尖圭コンジローマ	47	男	コンジローマ部位	ヒトパピローマウイルス11型	遺伝子
6/4	尿道炎	30	男	尿	クラミジア、 淋菌	遺伝子、 分離同定
6/5	尿道炎	35	男	尿	大腸菌	分離同定
6/10	尿道炎	40	男	尿	クラミジア	遺伝子
6/10	淋菌性尿道炎	24	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、 淋菌	遺伝子、 分離同定
6/11	尖圭コンジローマ	28	男	コンジローマ部位	ヒトパピローマウイルス16型	遺伝子
6/11	淋菌性尿道炎	38	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、 淋菌	遺伝子、 分離同定
6/11	淋菌性尿道炎	32	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、 淋菌	
6/12	陰茎ヘルペス	16	男	皮膚病巣(水泡内容)	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子
6/13	陰茎ヘルペス	57	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	
6/13	尖圭コンジローマ	21	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物 コンジローマ生検材料	ヒトパピローマウイルス40型	
				陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	
6/16	クラミジア	21	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	
6/16	尿道炎	44	男	尿	クラミジア	
6/16	尿道炎	58	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	
6/16	尿道炎	37	男	尿	クラミジア	

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
6/16	尿道炎	42	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
6/17	尿道炎	32	男	尿	クラミジア	
6/18	尿道炎	60	男	尿	大腸菌	分離同定
6/18	尿道炎	50	男	尿	クラミジア	遺伝子
6/19	尿道炎	26	男	尿	淋菌	分離同定
6/23	尖圭コンジローマ	61	男	コンジローマ部位	ヒトパピローマウイルス11型	遺伝子
6/23	淋菌性尿道炎	37	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、 淋菌	遺伝子、 分離同定
6/24	陰茎コンジローマ	30	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子
6/24	尖圭コンジローマ	39	男	コンジローマ部位	ヒトパピローマウイルス6型	
6/24	尿道炎	27	男	尿	クラミジア	
6/24	淋菌性尿道炎	45	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	
6/24	尿道炎	18	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	
6/25	クラミジア	21	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、 <i>Candida albicans</i>	
6/26	尿道炎	34	男	尿	淋菌	分離同定